

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	荒川区立心身障害者福祉センター生活実習室
評価機関名称	東武計画 株式会社
評価者	修了者No.H0202097 修了者No.H0202027 修了者No.H0202088 修了者No.H0202007
評価実施期間	2005年6月16日～2005年12月15日

全体の評価講評

▶ [詳細はこちらから](#)

💡特に良いと思う点

- ・ 地域との連携・交流の面から
- ・ 利用者満足的面から
- ・ 組織マネジメントの面から

✓さらなる改善が望まれる点

- ・ 職員の資質向上や職員満足的面から
- ・ 組織マネジメントの面から
- ・ 利用者満足的面から

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ [詳細はこちらから](#)

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 続きを見る ・ 職員会議で話し合われた個別支援計画が作成されており、利用者の持つ多様な障害には手... ・ 利用者の自立に向けた支援として、ガイドヘルパーの利用の仕方や土日の過ごしなどを、...	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 続きを見る ・ 利用者が活動しやすいよう室内の衛生面への配慮と整理整頓が行なわれており、畳を併用... ・ 日中の活動を利用者が自由に選択できるメニューとして、ウォーキング・ストレッチ・マ...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 続きを見る ・ 食堂に利用者の絵を飾って雰囲気作りをしたり、職員と利用者の食事時の会話もあり、食... ・ 給食の献立は日替わりメニューで一カ月前にたてられており、利用者には毎月献立表が配...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 続きを見る ・ 身の回りの支援については利用者の状態を見て活動内容や活動程度の範囲を判断しながら... ・ 利用者には自分でできることを少しでも多く取り入れらるようになることをねらって、食...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 続きを見る ・ 看護師や嘱託医は利用者や保護者から相談を受け、専門的なアドバイスをしていますが... ・ 日中の薬の投薬は自分で管理できる利用者と自分では管理できなくて担当職員が管理して...	

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A⁺

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 行事や見学活動として「初詣」「七福神巡り」「羽子板市」などクラス毎に通所バスを利...
- ・ 重要な行事のひとつである「ごちゃまつり」は利用者で実行委員会を作り、企画運営も利...
- ・ 標準項目を超えた優れた取り組みとして、利用者からの要望を聞き入れ、利用者の快適な...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 家族との連携は利用者の意思を尊重しながら行っていますが、意思の疎通や表出が困難な...
- ・ <保護者と職員とがコミュニケーションを密にし、お互いの理解を深め合う>というねら...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 玄関ホールには他施設や関係機関の情報誌、お知らせなどの掲示や設置をしており、保護...
- ・ 民間施設への支援活動に加え、施設交流でお茶会（作法を覚え、お客様をもてなす）を実...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちらから](#)

有効回答者数/利用者総数
6/26

1. 食事はおいしいですか

はい	4人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

2. 他の人に知られたくないことの秘密を守るなど、プライバシーが守られていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

3. 職員は、丁寧（乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない）に接してくれますか

はい	5人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

4. 職員はみんな同じようにあなたに接してくれますか（人によって言うことが違ったり、すごく厳しい人がいたりしませんか）

はい	4人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

5. あなたの気持ちをわかってくれる（相談できる）職員がいますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

6. 困ったことを外の人（第三者委員など）にも相談できますか

はい	1人	どちらともいえない	1人	いいえ	0人	無回答・非該当	4人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

7. 活動は楽しいですか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

8. あなたの目標や計画について、職員はいっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

9. あなたの目標や計画は、いつもあなたが納得できるものになっていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

10. 【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

11. 【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会（説明、掲示など）がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

12. 【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】説明を聞いて、ここに通ってみようと思いましたが

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13. あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	5人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 全体の評価講評

全体の評価講評

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評 ▼コメント

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

[次の評価結果を見る>>](#)

事業所名称	荒川区立心身障害者福祉センター生活実習室
評価機関名称	東武計画 株式会社
評価者	修了者No.H0202097 修了者No.H0202027 修了者No.H0202088 修了者No.H0202007
評価実施期間	2005年6月16日～2005年12月15日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

● 地域との連携・交流の面から

たんぽぽセンターは荒川区の障害者通所施設の基幹的施設として位置づけられており、関連機関や地域との連携の面においては特に優れたものがあります。行き場のない障害者を作らないという信念の基に困難な利用者を受け入れ、民間の障害者施設や高齢者施設への情報提供、技術支援、相談なども行っており、地域への貢献度には優れたものがあります。

● 利用者満足の面から

利用者への個別対応の充実を実践しているだけでなく、利用者主体の行事や交流を全面的に支える体制が作られており、利用者と共に活動する風土ができています。また、テレビ相談電話を導入するなどの新しい試みも取り入れられており、利用者の満足向上に積極的な点が評価されます。

● 組織マネージメントの面から

支援費制度の導入に向けて様々な改善を組織的かつ計画的に行い、利用者へのサービス向上につながって、区長から表彰されるなど、事業運営面での改善が行われたことは高く評価されます。

✔さらなる改善が望まれる点

● 職員の資質向上や職員満足の面から

リーダー層の充実(資質向上)や、職員の意見・希望を経営層や区に挙げて改善につなげて行く仕組みの機能向上の面について課題が挙がっていました。職員の研修については区の基準や取組みに沿った支援は行なわれていますが、職員個人の希望への対応や課題克服のために、さらに積極的な研修への取組みが期待されます。

● 組織マネージメントの面から

危機管理等のマニュアル類が作成され始めているものの、安定したサービスを継続して実施していくために、現場からの取組みに基づく、さらに多方面のマニュアル類の作成や改善が必要かと思われます。また、マニュアルの積極的な活用方策も職員間で討議して改善が行なわれると組織力の強化につながっていくと思われます。

● 利用者満足の面から

職員の男女構成比の改善による利用者へのよりの確な対応が課題に挙がっていましたので、組織の改変などがあつたときにはこの点を考慮されることが望まれます。

[このページの一番上へ](#)

コメント

職員アンケートは事前職員説明会で調査要領を添付して配布し、回答の封筒を糊付けして返却してもらった。利用者調査は評価者3名によるヒアリングで行った。(コミュニケーションの困難な方には介助者に同席していただいた)組織およびサービス分析評価は非該当なし。訪問調査では評価者は経営分野2名、福祉分野1名で実施した。レポートはオリジナル仕様によるもので、訪問調査時とフィードバック時の2回事業所に配布した。合議は訪問調査後のフィードバック前後に2回行った。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼リーダーシップと意思決定

▼経営における社会的責任

▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

▼計画の策定と着実な実行

▼職員と組織の能力向上

▼情報の保護・共有

▼カテゴリー1～7に関する活動成果

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

次の評価結果を見る>>

事業所名称	荒川区立心身障害者福祉センター生活実習室
評価機関名称	東武計画 株式会社
事業評価実施期間	2005年8月17日～2005年12月15日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	B
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】詳細はこちら	
- たんぽぽセンターは公設公営施設であり、荒川区の条例等に基づき事業所が目指している... - 理念・ビジョン等は職員参加で作成されている事業計画書にまとめられていますが、掲示...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	B
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	B
3. 地域との関係機関との連携を図っている	A+
【講評】詳細はこちら	
- 公設公営という立場から、守るべき社会的責任を果たすための取組みについては、様々な... - 標準項目を超える優れた取り組みとして、施設の元利用者(退所者)の支援が継続されて... - 実習生やボランティアを積極的に受け入れていますので、今後は、受け入れや運営に関す...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	B
【講評】詳細はこちら	
- 利用者の意見・要望・苦情の把握と分析のシステムについては、第三者委員制度や苦情解... 「行き場のない障害者をつくらない」という基本姿勢に沿って、地域の福祉ニーズについ...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】詳細はこちら - 荒川区障害者プランを中・長期計画として、予算編成と一体に事業所の年間事業計画が作... - 利用者の安全の確保と向上に関しては緊急対応マニュアルが作成・配布されています。	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	B
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	B
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	B
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】詳細はこちら - 事業所の職員構成については行政の方針とシステムの下に対応されており、事業所内では... - 職員の資質向上や職員満足への取組みについては、個人別の研修計画の作成、OJT(職... - 職員のやる気向上策については、行政による様々な制度(給与体系の改善、昇格制度、研...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A
【講評】詳細はこちら - 情報の保護・共有に関しては庁内LAN(コンピューターによるネットワーク)が整備さ... - 個人情報の保護については、保護及び開示の同意書が作成されており、利用者と職員の両...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A ⁺
【改善の成果】詳細はこちら 措置制度から支援費制度への移行に当たって、3年ほど前から、給食サービスの検討と実...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】詳細はこちら 事業の法内化に伴い、職員の意識改革のためにマニュアルを作成して能力向上が図られま...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】詳細はこちら 情報提供への新しい試み、情報の保護・共有や開示請求、苦情処理への対応などの面で大...	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点

1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら 施設の法内化により支援費収入が増加し、そのことが利用者へのサービス向上と負担軽減...	
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら 個別支援計画が充実してきており利用者意識の把握がよりの確にできるようになったこと...	
【講評】 詳細はこちら 1年間の改善への取り組みや成果については、全般に改善が図られていることが確認できま...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > サービス分析結果

サービス分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼サービス提供のプロセス項目

▼サービスの実施項目

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

[次の評価結果を見る>>](#)

事業所名称	荒川区立心身障害者福祉センター生活実習室
評価機関名称	東武計画 株式会社
事業評価実施期間	2005年8月17日～2005年12月15日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A ⁺
【講評】 詳細はこちら - 利用希望者への情報提供はホームページや荒川区報で行っており、セミナーの開催、施設... - 施設の見学はいつでも可能で、管理相談係が窓口となって見学の主旨や見学者の意向・ニ... - 標準項目を超えた特に優れた取り組みとして、荒川区ではIT推進計画のもとに、区の施...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - 新しい利用者との面接時には利用者一人ずつに「個別状況」の記録が作成されており、フ... - 利用者の障害特性、年齢、障害程度を考慮したクラス編成が行われています。 - 優れた取り組みとして、本人や家庭の状況に応じてサービス開始後に家庭訪問を行ってい...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の身体・生活状況は、面接時の記録用紙や個別支援計画の中に記載されています。... - 毎日の利用者の様子は、「指導日誌」に記録される他、連絡帳にも記載されます。指導日...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の写真や作品の掲示の際には同意書をもらっています。着替えや排泄介助は同性職... - 個人の意思の尊重の面では、「自分にされて嫌なことは他の人にするのはやめよう」とい... - 利用者の身体状況や家庭状況に応じて通所時間については柔軟に対応したり、週5日の通...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	B
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】 詳細はこちら - 事業所業務の水準確保のために危機管理に関する「緊急対応マニュアル」が作成され、会... - 職員は都や区の研修や民間の福祉研修を受講した後にミーティングで研修報告を行い、資... - 経験豊富な職員が多く仕事の手順も効率よく行われていますが、事業所業務の一定水準の...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - 職員会議で話し合われた個別支援計画が作成されており、利用者の持つ多様な障害には手... - 利用者の自立に向けた支援として、ガイドヘルパーの利用の仕方や土日の過ごし方などを、...	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者が活動しやすいよう室内の衛生面への配慮と整理整頓が行なわれており、量を併用... - 日中の活動を利用者が自由に選択できるメニューとして、ウォーキング・ストレッチ・マ...	
3. 栄養のバランスを考えたうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら - 食堂に利用者の絵を飾って雰囲気作りをしたり、職員と利用者の食事での会話もあり、食... - 給食の献立は日替わりメニューで一ヵ月前にたてられており、利用者には毎月献立表が配...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 身の回りの支援については利用者の状態を見て活動内容や活動程度の範囲を判断しなが... - 利用者には自分でできることを少しでも多く取り入れられるようになることをねらって、食...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 看護師や嘱託医は利用者や保護者から相談を受け、専門的なアドバイスをしていますが... - 日中の薬の投薬は自分で管理できる利用者と自分では管理できなくて担当職員が管理して...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A ⁺
【講評】 詳細はこちら - 行事や見学活動として「初詣」「七福神巡り」「羽子板市」などクラス毎に通所バスを利... - 重要な行事のひとつである「ごちゃまつり」は利用者で実行委員会を作り、企画運営も利... - 標準項目を超えた優れた取り組みとして、利用者からの要望を聞き入れ、利用者の快適な...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら - 家族との連携は利用者の意思を尊重しながら行っていますが、意思の疎通や表出が困難な... <保護者と職員とがコミュニケーションを密にし、お互いの理解を深め合う>というねら...	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 玄関ホールには他施設や関係機関の情報誌、お知らせなどの掲示や設置をしており、保護... - 民間施設への支援活動に加え、施設交流でお茶会(作法を覚え、お客様をもてなす)を実...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一覧上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 利用者調査結果

利用者調査結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

[次の評価結果を見る>>](#)

事業所名称	荒川区立心身障害者福祉センター生活実習室
評価機関名称	東武計画 株式会社
利用者調査実施期間	2005年9月7日～2005年10月12日

調査概要

- **調査対象:**施設の通所利用者26名の内、コミュニケーション可能な方6名に相談室で聞き取り調査を行った。
- **調査方法:**施設内で2箇所に分かれて個別ヒアリングを行った。平均30分弱程度。調査員は3名でヒアリングを行ったが、コミュニケーションが困難な方には仲介者に付き添っていただき、回答を把握した。
- 利用者総数: 26人
- 共通評価項目による調査対象者数: 6人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 6人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 23.1%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

ヒアリングをお願いした方は、愛の手帳2～4度の方で中・重度の方が多いため、仲介者の付き添いが必要であった。全般に、施設の生活や対応には皆さん満足されていた。行事や活動プログラムも豊富で、施設を休みたくなるようなことはなく、利用日が楽しみで休まず通所されているとのことであった。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1.食事はおいしいですか

はい	4人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
おいしい。まずい。好き嫌いはある。

2.他の人に知られたくないことの秘密を守るなど、プライバシーが守られていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
トイレは同性介助であり、しっかり守られている。おむつ交換や家族の話は個室で行われている。

3.職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	5人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
やさしく丁寧に接してくれる。人による。

4.職員はみんな同じようにあなたに接してくれますか(人によって言うことが違ったり、すごく厳しい人がいたりしませんか)

はい	4人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
職員は皆やさしいが、怖い人、きびしい人もいる。

5.あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
好きな職員がいて、相談に乗ってもらっている。

6.困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	1人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	4人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
相談したことがある。困ったことがない。
(施設には各所に第三者制度のお知らせが貼ってあるが、相談することの意味が把握できない方が多かった)

7.活動は楽しいですか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
ほぼ全員の方が散歩が楽しいと回答された。
その他、選択活動(カラオケや裁縫など)が楽しいと回答された方が3名おられた。
また、行事(宿泊訓練や誕生日会など)も大変楽しみにしておられた。

8.あなたの目標や計画について、職員はいっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
面談のときに目標を決めている。(農園活動、お菓子づくり、パソコン、作業など)

9.あなたの目標や計画は、いつもあなたが納得できるものになっていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
楽しく活動している。

10.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】説明を聞いて、ここに通ってみようと思いましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	5人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
はっきりと言う。
嫌いな職員には言えない。

14.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
職員は聞いてくれ、理解してくれる。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > リーダーシップと意思決定



リーダーシップと意思決定



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

たんぽぽセンターは公設公営施設であり、荒川区の条例等に基づき事業所が目指していることを明確化しています。また、様々な取り組み(規程類)や事務遂行のためのしくみができしており、経営層は職員や利用者(保護者)にも姿勢を明らかにて、決定経緯や決定事項を的確に伝えています。(利用者・家族には毎月開催されている保護者会で伝えています)

理念・ビジョン等は職員参加で作成されている事業計画書にまとめられていますが、掲示や活用への工夫については課題が見られましたので、職員や利用者に事業所の理念を一層周知徹底するため、掲示の取組みを始められると良いかと思います。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	B	
標準項目	×	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	○	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	×	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み		

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A	
標準項目	○	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	○	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み		

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A	
標準項目	○	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	○	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	○	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任



経営における社会的責任



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

公設公営という立場から、守るべき社会的責任を果たすための取組みについては、様々な活動が実践されており、荒川区の基幹施設としての位置づけと役割を果たしています。(条例による倫理規程等の作成、監査の実施、区のホームページへの掲載、実習生やボランティアの受け入れ、集会室の貸し出し、障害者自立支援セミナーの自主開催、地域の関連施設のネットワークのリーダー活動、保護者要望の受け入れ・回答システムなど)

標準項目を超える優れた取り組みとして、施設の元利用者(退所者)の支援が継続されており、利用者の自主グループ活動のために情報提供、施設開放、協働でのイベント開催などの活動を続けていることが高く評価されます。

実習生やボランティアを積極的に受け入れていますので、今後は、受け入れや運営に関する事業所独自のマニュアル類を作成し、基本理念・方針や運営姿勢の一層の明確化を図ると、なお良いかと思われます。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	○ 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している ○ 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	○ 第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる ○ 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	B
標準項目	○ 実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている ✕ 効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A
標準項目	○ 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) ○ 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	B
標準項目	✕ ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している ○ ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) ○ ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み	

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A+

標準項目		地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
		地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み	施設内交流事業を発案し、障害にかかわる民間事業所にも呼びかけて交流活動を行うなど、通所施設の基幹的役割を果たしている。また、利用者への支援施策の一貫として、通所修了者が自主的に結成している自主グループの活動を応援している。(街づくりへの助言、ワープロ、パソコン、杖を使った散策、ゲートボールなどの自主活動がある)	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用



利用者意向や地域・事業環境の把握と活用



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

利用者の意見・要望・苦情の把握と分析のシステムについては、第三者委員制度や苦情解決マニュアルの活用による対応が図られており、毎月開催している保護者会を通じても意向や問題が把握・分析されています。クラブ活動に利用者意向を反映させており、利用者の希望を取り入れた活動プログラムやセミナーの開催が行われています。

「行き場のない障害者をつくらない」という基本姿勢に沿って、地域の福祉ニーズについてはインターネットなども活用した行政情報の収集、障害者実態調査の実施、併設で行っている相談事業からのニーズの収集など、行政組織としてニーズの把握に取り組んでいます。今後はこうしたニーズや情報をさらに深く整理・分析することの必要性を感じているとの認識でしたので、基幹施設としての一層の取組みが図られていくものと期待されます。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A
標準項目	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A
標準項目	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	B
標準項目	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 計画の策定と着実な実行



計画の策定と着実な実行



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

荒川区障害者プランを中・長期計画として、予算編成と一体に事業所の年間事業計画が作成されています。計画の実行に当たっては他区施設の情報収集や研究会に参加しての事例研究などを踏まえ、事務事業分析シートや行政評価などを活用しながら事業の進捗状況を把握した上で実行に取り組んでいます。

利用者の安全の確保と向上に関しては緊急対応マニュアルが作成・配布されています。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	○ 年度単位の計画を策定している
	○ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している
	○ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	○ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
	○ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	○ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
	○ 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	○ 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 職員と組織の能力向上



職員と組織の能力向上



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

事業所の職員構成については行政の方針とシステムの下に対応されており、事業所内では自己申告制度と個人面談の実施により必要な人材構成に努めています。利用者の男女比と事業所職員の構成比率がなかなか整合しないという悩みを抱えています。

職員の資質向上や職員満足への取組みについては、個人別の研修計画の作成、OJT(職場内研修)の充実、職員の主体的判断力の向上については課題が見られましたので、本第三者評価を受け、次年度の改善テーマに掲げるなどして一層の改善に取り組まれることが期待されます。

職員のやる気向上策については、行政による様々な制度(給与体系の改善、昇格制度、研修など)があり、取組みが実践されています。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	B	
標準項目		事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
		事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている
		適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取組み		

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	B	
標準項目		職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
		職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
		個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている
		職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
		職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取組み		

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	B	
標準項目		職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
		職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
		職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取組み		

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A	
標準項目		事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている
		就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
		職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
		福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 情報の保護・共有



情報の保護・共有



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

情報の保護・共有に関しては庁内LAN(コンピューターによるネットワーク)が整備されており、情報の管理システムについても基本的な整備(ファイリングシステムやロッカーの施錠など)ができています。

個人情報の保護については、保護及び開示の同意書が作成されており、利用者と職員の両方から同意を得ています。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A	
標準項目		情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
		収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している
		保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み		

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	A	
標準項目		事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
		個人情報の保護に関する規定を明示している
		開示請求に対する対応方法を明示している
		個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果



カテゴリー1～7に関する活動成果



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

1年間の改善への取り組みや成果については、全般に改善が図られていることが確認できました。その中で、特に計画的な取り組みを踏まえて改善成果の挙げた事項には、支援費制度の実施を受けた事業の法内化により、事業運営や経営の面において目に見える形で改善成果が図られた点があります。(これにより社会的信頼が一層増したという事業所の認識があります)

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A ⁺
改善の成果	措置制度から支援費制度への移行に当たって、3年ほど前から、給食サービスの検討と実施、利用者・職員への支援費制度の説明など、計画的な改善活動が継続して行われてきました。また、こうした一連の取り組みについてはその成果が認められ、区長より表彰されています。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	A
改善の成果	事業の法内化に伴い、職員の意識改革のためにマニュアルを作成して能力向上が図られました。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	A
改善の成果	情報提供への新しい試み、情報の保護・共有や開示請求、苦情処理への対応などの面で大きな改善が図られました。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A
改善の成果	施設の法内化により支援費収入が増加し、そのことが利用者へのサービス向上と負担軽減につながったと評価され、区長より表彰されています。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

- ・カテゴリー3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

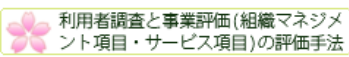
評点	A
改善の成果	個別支援計画が充実してきており利用者意識の把握がより的確にできるようになったことが確認されました。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービス情報の提供

 サービス情報の提供



講 評

利用希望者への情報提供はホームページや荒川区報で行っており、セミナーの開催、施設公開の案内、行事などのニュースが区報に記載されています。

施設の見学はいつでも可能で、管理相談係が窓口となって見学の主旨や見学者の意向・ニーズに合わせ、係長・主査が対応しており、利用を希望する見学者には施設のパンフレットを渡しています。パンフレットは職員の手作りによるユニークなもので、絵や図式で説明されていて読みやすく、一見して荒川たんぽぽセンターの内容・活動が分かるものとなっています。

標準項目を超えた特に優れた取り組みとして、荒川区ではIT推進計画のもとに、区の施策紹介のホームページが公開されており、高齢者・障害者への配慮として、テレビ電話によるフェイスツウフェイス(顔の見える対応)の相談が行なわれています。たんぽぽセンターでも活用されていますが区民事務所には他にもこの機能をもつパソコンが設置されており、必要な区民には読み上げソフトのCDも配布されています。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A ⁺
標準項目	 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	・荒川区IT推進計画と連動して、TV電話で相談ができるシステムを立ち上げた。また、障害者や高齢者を対象としたIT講習を開催している。荒川区の施設紹介のホームページがあるが、それと連動させて障害者向けの「読み上げソフト」をCDで配布している。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)



サービスの開始・終了時の対応



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評価の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

講 評

新しい利用者との面接時には利用者一人ずつに「個別状況」の記録が作成されており、ファイリングされています。また、施設の入所に当たっては1週間の実習期間を設けています。職員間では、朝の打ち合わせ会議で利用者に統一した対応ができるよう情報交換を行っており、様子や関わり方がクラスノートに記録されています。利用者の利用終了の際には、激励のお別れ会を開催したり、ケースによっては利用者情報の転所先への申し送りも行なわれています。

利用者の障害特性、年齢、障害程度を考慮したクラス編成が行われています。

優れた取り組みとして、本人や家庭の状況に応じてサービス開始後に家庭訪問を行っています。プライバシーを配慮しながら家庭での様子を把握し、利用者本人にとってどう家庭生活を改善していけばよいか、関わるポイントを職員間で話し、対応を考慮してサービスにつなげています。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 個別状況の把握・記録



個別状況の把握・記録



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

利用者の身体・生活状況は、面接時の記録用紙や個別支援計画の中に記載されています。個別支援計画の策定に際しては年度末に三者面談を行って一年を振り返っての利用者の希望や要望を聞き取っています。新年度の計画説明は年度始めに三者面談を行って説明し、同意をもらっています。利用者情報の共有化は、朝のミーティング(打ち合わせ)、職員会議でのケースカンファレンス(個人別の検討会議)で話合われ、クラスノートに内容が記録されています。

毎日の利用者の様子は、「指導日誌」に記録される他、連絡帳にも記載されます。指導日誌は利用者の状態と職員の関わり、対応、その結果なども記入されており、きめ細かなものとなっています。利用者の担当は決まっていますが、日誌はその日に利用者に関わった職員が作成することでそれぞれの利用者理解につながっています。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A
標準項目	☐ 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	☐ 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	☐ アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A
標準項目	☐ 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	☐ 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	☐ 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めつつ、必要に応じて見直ししている
	☐ 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A
標準項目	☐ 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
	☐ 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A
標準項目	☐ 計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している
	☐ 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重



プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

利用者の写真や作品の掲示の際には同意書ももらっています。着替えや排泄介助は同性職員が対応していますが、職員の男女比に差があるので、やや対応に苦慮されています。

個人の意思の尊重の面では、「自分にされて嫌なことは他の人にするのはやめよう」ということを基準にし、現場の行動の中で、また、日常の会話の中で職員同士で意思確認をしています。

利用者の身体状況や家庭状況に応じて通所時間については柔軟に対応したり、週5日の通所が無理な人は3日にしたり、分煙所を設けて喫煙を認めたりなど、利用者の生活習慣に合わせたきめ細かな対応が行われています。保護者と協力しながら、利用者の特性に配慮しつつ、徐々に生活習慣等のリズムを整えていくことを目標に支援が行われています。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A	
標準項目		利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
		日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
		利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A	
標準項目		日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
		利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
		虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
		利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003~2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 事業所業務の標準化



事業所業務の標準化



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

事業所業務の水準確保のために危機管理に関する「緊急対応マニュアル」が作成され、会議での確認と職員間の共通理解を得ています。また、必要な時に点検をしたり、年度末に見直しを行っています。よりよいサービス実施に向けて会議の中で利用者対応の事例報告をし、改善を図っています。

職員は都や区の研修や民間の福祉研修を受講した後にミーティングで研修報告を行い、資料を回覧しています。研修記録ファイルが作成されており、日々のOJT(職場内研修)として係長がアドバイスをしたり、専門職から指導技術を学んでいます。

経験豊富な職員が多く仕事の手順も効率よく行われていますが、事業所業務の一定水準の確保のためには、将来のことも考慮し、今、身に付けている仕事の手順のノウハウなどを文書やマニュアルにまとめておくことも必要と思われます。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	B
標準項目	○ 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○ 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている ○ 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している ✕ 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	A
標準項目	○ 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ○ 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている ○ 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをともに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	○ 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている ○ 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している ○ 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている ○ 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している ○ 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの実施

サービスの実施

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講 評

職員会議で話し合われた個別支援計画が作成されており、利用者の持つ多様な障害には手話や筆記の活用など、状況に応じ工夫されたコミュニケーション手法による、きめ細かな支援が行われています。対人関係のアドバイスとして、利用者や保護者に関係作りの方法やポイントを知らせ、好ましい関係が持てるような支援が行われています。

利用者の自立に向けた支援として、ガイドヘルパーの利用の仕方や土日の過ごし方などを、懇談会、電話、便りで知らせています。

評点	A
標準項目	個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講 評

利用者が活動しやすいよう室内の衛生面への配慮と整理整頓が行なわれており、量を併用した活動室も用意されています。一日の活動を確認する朝のミーティングでは「今日はどのような活動をしたいか」を聞き、可能な限り利用者の希望する活動を取り入れています。また、わかりやすいメニューの提供も行なわれています。

日中の活動を利用者が自由に選択できるメニューとして、ウオ-キング・ストレッチ・マッサージ・カラオケなどの選択活動が週に1回実施されています。最も人気のあるのはストレッチです。(朝、量の部屋で職員と一緒にストレッチ運動をしている利用者の姿も見られました)

評点	A
標準項目	日中活動メニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	利用者が活動しやすい環境を整えている
	利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

食堂に利用者の絵を飾って雰囲気作りをしたり、職員と利用者の食事中の会話もあり、食事時間が楽しいひと時となるよう工夫されています。隔月で調理員の代表、栄養士、担当係長で給食会議を行っていて、利用者や職員の献立に対する意見をメニューに反映させています。生活習慣病を持つ利用者には食事量の調整をしたり、介助の必要な利用者には個別対応が行なわれています。

給食の献立は日替わりメニューで一ヵ月前にたてられており、利用者には毎月献立表が配布されています。運動会の時には随費から昼食代を支出し、行事の時には保護者が模擬店で作るものを食べるなど、非日常の楽しみもあります。毎月賄い費から500円がでてレストランなどで外食する機会があることは利用者から好評を得ています。

評点	A	
標準項目	○	利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
	○	利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
	○	食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講 評

身の回りの支援については利用者の状態を見て活動内容や活動程度の範囲を判断しながら、また、安全面、清潔面への配慮にも注意しながら支援が行なわれています。

利用者には自分でできることを少しでも多く取り入れらるようになることをねらって、食事の後片付け、テーブル拭き、部屋の掃除、着替え、歯みがきの励行などを行っています。施設にいる間だけでなく、家庭での協力も求め、利用者の生活面での自立を支援していくよう工夫が行われています。

評点	A	
標準項目	○	利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
	○	必要に応じて、身の回りのことは自分でできるよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

看護師や嘱託医は利用者や保護者から相談を受け、専門的なアドバイスをを行っています。薬や精神状態に関する神経科相談が多い状況となっています。看護師は毎朝全利用者の視診をしており、利用者の急な体調変化には「緊急対応マニュアル」に沿った対応が行われています。保護者への伝達、救急車の病院確認のしくみなど、緊急連絡体制も決められています。

日中の薬の投薬は自分で管理できる利用者と自分では管理できなくて担当職員が管理している利用者がいて、それぞれに対応した与薬のしくみが作られています。手渡しをして利用者が飲むのを見た後「飲みました」と職員は声をだして伝えています。声かけを重視し、誤薬がないような確認を行なっていることは評価できます。

評点	A	
標準項目	○	健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	○	必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	○	服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
	○	利用者の体調変化（発作等の急変を含む）に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

行事や見学活動として「初詣」「七福神巡り」「羽子板市」などクラス毎に通所バスを利用して行なわれています。社会見学では利用者も場所の選定に参加し、葛西臨海公園や菖蒲沼公園に行っています。宿泊訓練では利用者の意見・希望を取り入れて楽しみ方の工夫を行なうと共に、利用者の話合いの場を作っています。

重要な行事のひとつである「ごちゃまつり」は利用者で実行委員会を作り、企画運営も利用者主体で行なわれており、職員はサポート役にまわって、利用者の自主性を養うことをねらいとしています。ハートの運動会は区内の他の知的障害者施設と合同で行う運動会で、利用者も運営に参加しています。

標準項目を超えた優れた取り組みとして、利用者からの要望を聞き入れ、利用者の快適な生活支援を実現するため、カリキュラムの中に個別に対応する自由な時間が設定されています。活動の中で2時間ほど職員と利用者が一対一、一対二で一緒に買い物に行くこともあります。（利用者からも「CDを買いに行ったら楽しかった」という言葉が聞かれました）また、利用者主体の行事や活動への強力な支援体制があります。

評点	A ⁺	
標準項目		行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
		室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
		日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
		利用者等が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようしくみを整えている
		行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	・利用者の自主運営による委員会が作られており、「ごちゃますり」が企画運営されているが、事業所ではこの活動を日頃から支援している。知的障害者の他機関との連携による「ハートの運動会」にも企画参加している。	

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

家族との連携は利用者の意思を尊重しながら行っていますが、意思の疎通や表出が困難な利用者には職員の判断で家族との連携が行われています。また、保護者懇談会やクラス便りでも必要な情報の提供を行っています。

＜保護者と職員とがコミュニケーションを密にし、お互いの理解を深め合う＞というねらいを持って、保護者懇談会・クラス懇談会・個別面談が開催されており、施設の取り組みとねらいの達成に至っていると思われます。（保護者より試食会の要望が出され、その結果試食会が実施されました）

評点	A	
標準項目		家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
		利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
		必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

玄関ホールには他施設や関係機関の情報誌、お知らせなどの掲示や設置をしており、保護者懇談会でも必要な情報を提示しています。ボランティアに関しては、隔月の理容ボランティア、行事や日常活動のボランティア、サマーボランティア、中学生のボランティアの受け入れが行われています。また、福祉系の大学、専門学校の実習生の受け入れも行われています。

民間施設への支援活動に加え、施設交流でお茶会（作法を覚え、お客様をもてなす）を実施されており、こうした催しは利用者にとって多様な経験ができる機会となっていることが推察できます。また、地域の行事である福祉まつりや川の手まつりなどへの参加は区民との交流の場ともなり、生活経験を広げられると思われます。

評点	A	
標準項目		地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
		必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)